

広報 やまの

祝 南砺市二十歳の集い

No.143
2026.3.25

山野地域づくり協議会
南砺市飛騨屋20番地
TEL 0763-82-4510





二十歳の
皆様に向けて

市議会議員 川原 忠史

二十歳を迎えられました皆様、おめでとう
ございます。

今日まで深い愛情で、守り育てられました
ご両親をはじめ、ご家族の皆様には、喜びも
ひとしおのこととお慶び申し上げます。

さて、市の最大の課題であります人口減少
対策を進める中で、桜ヶ池周辺においてR9
年初夏開園に向け整備が進められています自
然体験施設「プレイアースパーク」また、才
川七地内でのデータセンター誘致計画な
ど、地域活性化や持続可能な発展、新たなブ
ランドイメージ構築により、課題解決への効
果が大きく期待されます。

また、井波地域では、若い方や移住者を中
心とした空き家等を活用し、新たな店舗が
オープンするなど、地域の魅力が向上し、変
化・活気にあふれています。

皆様の若い力、発想力、実行力を山野地区
の発展、ひいては、井波地域、市の発展に尽
力いただきますようお願いいたします。

結びに、二十歳を迎えられました皆様の今
後ますます、ご健康でご多幸でありますこと
をご祈念申し上げ、夢の実現に向け、邁進さ
れますようお願い申し上げます。



2026/1/11



南砺市二十歳の集い
フォトギャラリー





上野 茉莉まこ



この度、多くの方々の温かい支えにより、二十歳という人生の節目を迎えることができました。これまで育て、見守ってくださった家族をはじめ、共に過ごしてきた友人、導いてくださった先生方、そして地域の皆様には心より感謝しています。

私は現在、大学で体育・スポーツを専門的に学びながら、自分の可能性を広げ、将来の夢に繋げようと努力しています。日々の学びを通して、自分が本当にやりたいことや、社会にどのように関わっていきたいかを考えています。将来に迷うことがあっても、私の心の支えとなっているのは生まれ育った地元存在です。温かい人々や慣れ親しんだ風景が、前を向く力を与えてくれます。これから先、進学や就職を通してさまざまな場所で経験を重ねていくことになりませんが、地元で育ったことは私の原点であり、大切な誇りです。これまでの学びと経験を糧に、自分らしい道を切り拓き、どこにいても感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できる人間へと成長していきたいと思えます。



上田 優里香ゆりか



この度、二十歳という人生の節目を無事に迎えることができ大変嬉しく思っております。家族をはじめ、友達や先生方、地域の方々等、たくさんの方々の支えがあったからこそ心身共に成長することができました。本当にありがとうございます。

私は現在、短期大学に進学し保育や幼児教育に関する知識や技術を学んでいます。将来への不安を感じ、逃げたくなる時もあります。しかし、そんな時はいつも支えてくれている家族や周囲の皆さんの支えがこころの拠り所になっています。常に感謝の心を持って行動するように心掛けていきたいです。また、失敗から学び続ける姿勢を大切にしたいです。人との出会いやつながりを大事にし、感謝の気持ちを言葉と行動で表せる大人になりたいです。夢や目標に向かって努力することを忘れず、挑戦することを恐れずに、自分らしい人生を丁寧に歩んでいきたいです。



齊藤 柊しゅう



二十歳という
節目を迎えて

私は、今年二十歳という節目を迎えました。その中でもやはり、この二十年という長い年月を一日も欠かさず面倒をみてくれていた家族には、感謝してもしきれません。

私は、高校卒業後特にやりたい事が見つからず、一度は就職して仕事をしていましたが、昨年の夏、調理師になりたいという夢が出来たことになりました。私が家族に料理の専門学校に行きたいと話をした時も、みんな頑張れと応援してくれたので、それを聞いて私は、専門学校で調理師の資格を取り、今まで私を支えてくれた家族に最高の手料理をふるまいたいと思います、これから頑張っていく所存です。最後に改めて、今までの二十年という長い期間、様々な面で私を育てて下さったすべての方に感謝しております。ありがとうございます。



但田 真佑子
まゆこ



この度、二十歳という人生の節目の日を迎えることができたことを大変嬉しく思います。二十年間大きな病気やけがもなく健康に過ごしてこられたのは、家族をはじめたくさんの方々の支えがあったからだと感じています。本当にありがとうございました。二十歳の集いでは久しぶりに顔を合わせる友人とも話が弾み、懐かしく楽しい時間を過ごすことができました。関係者の方々、地域の方々に感謝しています。私は現在大学に進学し、経済学を学んでいます。自分の興味ある分野を学び、充実した毎日を送ることができています。大学での学びや経験を活かし、将来は生まれ育った富山県や南砺市の発展に貢献したいという思いがあります。地域社会を支える一員となれるよう、一人の大人として自分の行動に自覚と責任を持ち、周囲への感謝の気持ちを忘れずに行動していきたいと思っています。

感謝

二十歳を迎えた私達の
今まで、そしてこれから



この度は無事に二十歳という節目を迎えられたことをうれしく思います。家族、友人、関わってくださった皆様の暖かい支えがあったからこそこのような日を迎えることができました。ありがとうございます。

私たちの学年は中学校の卒業式や高校の入学式、学校行事などが新型コロナウイルスの影響で様々な制限の中で行われ、仕方のないことではありましたが、思うような活動ができずもどかしい気持ちを抱えていた部分もありました。しかし、今回の二十歳のつどいでは、盛大に式典を開催していただき、輝かしい気持ちで二十歳を迎えることができ感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも感謝の気持ちを忘れず、日々頑張っていきたいと思っています。この度はありがとうございました。



西村 悠吾
ゆうご



家族をはじめ、友人や先生方、地域の方々を支えられ、この度、二十歳という人生の節目を迎えることができました。あたたかい地域で見守られて育ち、大きな怪我や問題もなく「二十歳の集い」に出席できたことを嬉しく思います。本当にありがとうございます。

僕は現在、県内で就職し、工場設備のメンテナンス業務をしています。まだ学ぶことが多い中、不安に押し潰されそうな時もあります。しかし、そんな時は今まで過ごしてきたふるさとの思い出がいつも前を向かせてくれます。

これから先、嬉しいことや悲しいこと、楽しいこと辛いことなど、様々な出来事や新しい経験があると思います。その全てがこの二十年を経てこそあるものだ、思い出と感謝を胸に精進してまいります。

三世交代流事業




ふれあい委員長 稲垣 俊広

12月7日(日)に長寿会、町内会長協議会、壮年会、児童クラブ育成会、母親クラブ、地域福祉推進員、民生児童委員、ボランティア委員会の皆さんの協力のもと、子どもたち約60名、親・祖父母世代約60名が参加し、餅つきやゲームを通して三世交代流事業を行いました。

子どもたちは、臼に入った餅を少し緊張した面持ちで一生懸命ついてくれました。その様子がとても微笑ましく、周りから自然と声援が送られていました。ついた餅は大人のフォローを受けながら、真剣な表情であんこやゴマ、きな粉をつけパックに詰めていました。スポーツ室では、親子でゲームを楽しみむ姿がありました。

餅つきの後は、子どもたちと大人が同じテーブルにつき、つきたてのお餅やおいしい豚汁を味わい、にぎやかで笑顔があふれるひと時を過ごし三世交代流を楽しみました。



笑顔あふれる三世交代餅つき会

山野母親クラブ 高田 瑞恵

私は、餅を丸めてきな粉・ゴマ・あんこを付けたところをお世話させていただきました。子どもたちは手伝いが大好き！「きな粉つける！」「あんこもやりたい！」「餅をちぎってみたい！」「これ運んでくる！」と積極的に取り組んでいきました。そんなパワーあふれる姿に周囲の大人は温かさを感じ、自然に笑顔と会話があふれていました。この餅つき会は地域の方と触れ合える素敵な機会であり、これからも大切にしていくべきだと感じました。

クリスマス会を終えて

山野児童クラブ育成連合会会長 大島 智之

12月7日、山野交流センターでクリスマス会を開催しました。今年も多くの方に参加頂き、恒例のビンゴ大会を行いました。

喜びを全身で表現する子。少し恥ずかしそうに手を上げる子。ビンゴした子どもたちの反応は様々でしたが、多くの子が「ありがとう」とお辞儀をしてプレゼントを受け取っていたのが印象に残りました。短い時間でしたが、子どもたちが最後まで元氣いっぱい楽しんでくれたことをとても嬉しく思いました。

準備から当日の運営に至るまでご尽力くださった役員の方々をはじめ、関わってくださった皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。



山野町内会長協議会

会長 大浦 喜樹
副会長 柴田 芳雄

監事 河原 正明

計 岩崎 豊久

坪野 武田 順治

山 柴田 芳雄

岩 岩崎 豊久

飛 齋藤 幸宏

野 往蔵 満秋

井 堀 直毅

安 河原 正明

清 嶋 喜彦

高 森井 徹

専 大浦 喜樹

山野老人クラブ長寿会

会長 大浦 栄次(専)

副会長 松川 毅(岩)

総務 澤田 聡樹(坪)

会 柴田 芳雄(山)

計 長谷川 勲(清)

監 齊藤るり子(山)

事 高山 博文(飛)

高 岩倉あつ子(岩)

副学級長

活動推進員

長谷川 勲

女性部長 細川和代子(軸)

女性副部長 上田 宣子(安)

文化祭展示委員 細川和代子

長谷川 勲

文化祭発表委員 齊藤るり子

長谷川 勲

三世代盆踊り委員 澤田眞理子(高)

長谷川英明(軸)

高田千恵子(坪)

高田 照美(飛)

松川 毅

交通安全リーダー 澤田 聡樹

長谷川英明

健康福祉部委員 長谷川英明

山野壮年会

会長 細川 謙一(軸)

副会長 河原 秀樹(安)

庶務 松川 晃人(岩)

監事 細川 忠史(軸)

往蔵 千収(野)

板橋 秀司(坪)

山本 守(山)

齊藤 修隆

飛 長谷川秀伸

野 磯辺 紀之

高 高田 繁
専 大浦 峻

山野青年会

坪野 外山 大郎

岩 中嶋 徹

飛 大野 弘毅

高 高田 拓

専 大浦 真

清水 嶋 智也

児童クラブ育成連合会

坪野 松山 将也

山 飯田 洋人

岩 長谷 温友

飛 山田 孝高

安 新里 史朗

清水 高田 拓

専 大浦 峻

○母親クラブ 松山友香里

坪野 飯田こずえ

山 山下 三世

岩 山田奈々恵

飛 新里 宏美

安 嶋 千嘉

清水 鳴 舞

専 佐竹 舞

山野青年会、児童クラブ育成連合会は、原稿締切時点では総会前のため、役職名は掲載しておりません。

柴田壽和さん瑞宝双光章を受章

元富山県理事の柴田壽和さんが10月21日、富山県庁において地方自治功労による高齢者叙勲「瑞宝双光章」を田中経営管理部長から伝達されました。

柴田さんは昭和36年の入庁以来40年にわたり、富山県の農業振興と変化する農政への迅速な対応に努められました。特に平成5年の大凶作では、深刻な米不足の中で翌年度の作付けに必要な種もみの確保に奔走し、無事に必要量を確保したことで各県の農業者から深い感謝が寄せられました。多くの困難を乗り越えた経験は、柴田さんにとっても大きな励みとなったそうです。

今後も健康にご留意いただき、長年培われた知識と経験を生かして、農業振興へのさらなるご助力を期待しています。



第50回防火ポスターコンクール

南砺市消防団山野分団長 竹原 賢一

平素より山野地域の皆さんには消防団活動にご協力とご理解を賜りありがとうございます。

さて、山野分団が毎年実施している防火ポスターコンクールは今回で50回を迎えることができました。2月26日に山野育成会会長様と共に審査をさせて頂きました。



児童・生徒の皆さんの防火メッセージやポスターはいずれも表現力豊かで、審査員一同、目を見張るものばかりでした。素晴らしい作品をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。
毎回参加していただいている児童・生徒の皆さんの作品が年々さらに表現力を高めていることも強く感じております。
これらの作品は、山野交流センター内に秋のふれあい祭りまで展示させて頂いていただいております。ぜひご来館のうえ、ご鑑賞くださいますようお願い申し上げます。

コンクール表彰者

低学年の部

- 金賞 松岡 茉奈(小二)
- 銀賞 磯邊 彩葉(小一)
- ” 吉川 実花(小三)
- 銅賞 金戸叶珠羽(小一)
- ” 柴田 陽向(小一)
- ” 守山 詩乃(小三)

高学年の部

- 金賞 大谷 馨子(小六)
- 銀賞 磯邊 隼士(小四)
- ” 金戸 麻紘(小四)
- 銅賞 高田 侑依(小五)
- ” 柴田 爽良(小五)
- ” 上田美悠香(小六)

中学生の部

- 金賞 木村 百花(中二)
- ” 磯辺 悠花(中三)
- 銀賞 吉川 侑花(中二)
- ” 磯辺 知花(中二)
- 銅賞 柴田 樹生(中二)
- ” 高田 真衣(中一)
- ” 大谷 吉乃(中三)

保育園の部 努力賞

- 高田 茉来(年少)
- 柴田 那美(年少)
- 吉川 采花(年少)
- 松岡 怜奈(年中)
- 高田 悠生(年長)



『ほのぼのの家』を開催しました

健康福祉部ふれあい委員会

ふれあい委員長 稲垣 俊広

2月14日(土)に70歳以上で一人暮らしの方、75歳以上のご夫婦でお住まいの方をお招きし「ほのぼのの家」を開催しました。招待者15名、ふれあい委員・ボランティア委員14名が参加しました。

おしゃべりタイムの後、音楽療法士の田悟恵(でんごめぐみ)さんによる音楽を交えた軽快なリズムが始まりました。懐かしい歌の合唱や昔の思い出話を話したり、楽器でリズムを取りながら歌ったり体を動かしたりと、終了後は皆さん体も心もほぐされたような様子でした。続いてボランティア委員の皆さんに準備していただいた鍋料理に参加者全員で味わいました。皆さん会話も弾み、にぎやかな空気が広がっていました。

最後に、用意された景品の中から好みの景品を獲得するゲームを楽しみ、限られた時間でしたが和やかな雰囲気の中で楽しいひと時を過ごしました。来年も多くの皆さんの参加をお待ちしています。



編集後記

令和7年度も山野地域づくり協議会の各種事業を、ほぼ計画どおり進めることができました。ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。
現在は一年間の取り組みを振り返りつつ、4月25日に予定している総会に向けて新年度の準備を進めています。
令和8年度もより多くの皆さんに参加していただき、いっそう活気あふれる「やまの」を一緒につくっていただければと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いたします。(編集委員会)

山野の魅力紹介

8

(株)PLAY EARTH PARK

代表取締役社長 木村宏さん



木村宏さん(山斐在住)

PLAY EARTH PARK

子どもたちが遊びながら自ら考える力を育てる場



パーク、展望台、プラザ



ガーデン

令和9年初夏の開業を目指して整備が進められている「プレイアースパーク」は、桜ヶ池北側の約40ヘクタールを拠点に、四季折々の自然を体感できる新たな交流拠点として開発が進められています。子どもたちには「初めての感覚」を、大人には「新たな気づき」をもたらす場となることを目指し、自然の中で主体的に学び、考える力を育む環境づくりが進められています。

敷地は「パーク」「フォレスト」「ガーデン」の3つのエリアで構成されます。パークエリアは、子どもたちが好奇心のままに走り出したくなるようなランドスケープが特徴で、大型遊具などを配置し、自由な遊びを生み出す空間とします。フォレストエリアでは、森の中に設ける展望台から鳥や草花を観察し、自然の不思議を体験できます。ガーデンエリアでは、季節を72の期間に分け、多年草を中心に設計されたガーデンを通して、細やかな自然の移ろいを感じられる場を演出します。隣接地には、食事やサウナを楽しめる宿泊用ヴィラやキャンプサイトの整備も予定されており、カヌー体験ができるアクティビティセンターや「食」をテーマにした施設の

設置も計画されています。

この事業は、ゴールドウインの子会社として令和5年に設立された「株式会社プレイアースパーク」が進めています。設立の背景には、自然環境の中で子どもたちが主体的に学び、自ら考え行動する力を育む場をつくりたいという思いがあります。また、気候変動問題への取り組みや地域活性化といった社会貢献に加え、持続可能なビジネスの再構築という企業としての目的も含まれています。

山斐在住で同社の社長を務める木村宏さんは、観光事業や宿泊施設の経営や地域活性化の取り組みなど、長年にわたり観光分野の実務に携わってこられた方です。平成27年には、その豊富な経験が評価され、観光分野においては全国初となる大学院の開設に併せて設置された北海道大学観光学高等研究センターの教授に就任。現在も客員教授として教育と実務の両面で活動を続けています。ゴールドウインとは都市と農村の交流を基軸とした農山村の活性化の取り組みであるグリーンツーリズムを通じて30年来の交流があり、同社からの要請を受け、3年前に社長就任を決断され、北海道からの移住も決意されました。

現在、プレイアースパークには25名が勤務しており、4月以降は50名を超える体制となり、開業時には150名超の雇用を目指しています。市内の若者にとって新たな就職先としても期待が高まっています。

木村さんが南砺市、特に井波を選ばれた理由については、「社長として働くなら市内に住みたい」という思いに加え、外から来た人を温かく迎える風土や、文化・暮らしの雰囲気、心地よかったことが挙げられます。立山連峰などの山並みを背景に空が広く、道路もまっすぐで走りやすいという第一印象だそうです。現在の山斐への転居についても、散居村の広々とした暮らしに魅力を感じたため、「長野や北海道での厳しい雪に比べれば、南砺の雪は苦にならない」と笑顔で話されました。